

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表！ 『ホンダ・ゴールドウイング』が首位を獲得！

対象期間 2014年12月～2015年2月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2014年12月～2015年2月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。12回目となる今回は「ホンダ・ゴールドウイング」が首位獲得となりました！

◇ 『ホンダ・ゴールドウイング』が首位に！

◇ 『ヤマハ・MT-07』が初登場で、2位と健闘

◇ 常連となっている『カワサキ・Ninja250』
『カワサキ・ZRX1200 DAEG』も順当にランクイン。



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：矢部、平見

TEL 03-6803-8867

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

バイク王 バイクライフ研究所

■ 総合ランキング

順位	前回	回数	メーカー・車種	リセール・プライス
1	-	2	ホンダ・ゴールドウイング	82.1pt
2	-	初	ヤマハ・MT-07	79.4pt
3	5	2	ヤマハ・MT-09 ABS	78.6pt
4	8	4	カワサキ・Ninja250 ABS Special Edition	78.5pt
5	1	2	ヤマハ・MT-09	77.7pt
6	-	初	ホンダ・NM4-01	73.9pt
7	6	6	カワサキ・Ninja250	73.1pt
8	2	5	カワサキ・ZRX1200 DAEG	73.0pt
9	-	2	ホンダ・CB400SUPER FOUR	72.0pt
10	-	初	ヤマハ・BOLT	71.5pt

◇今回対象期間 2014年12月～2015年2月、前回対象期間 2014年9月～11月

12回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・ゴールドウイング』が2位に2.7pt差を付け首位に輝きました。

『ホンダ・ゴールドウイング』は、第8回以来のランクインとなりました。

ライダーの声を反映し、快適なロングツーリングを追及し続ける存在として、その歴史と共に進化を遂げる当車種は、本年、1975年『ゴールドウイング GL1000』発売から40周年を迎え、記念モデルも発売されるなど、ますますファンからの注目を集めることと思われます。

また、『カワサキ・Ninja250 ABS Special Edition』『カワサキ・Ninja250』『カワサキ・ZRX1200 DAEG』がそれぞれ第4位・第7位・第8位にランクインしており、本ランキングの常連車種が安定した人気を得る中、それ以外の7車種については、初登場・2回目のランクインとなっており、ランキングにも少しずつ変化が表れてきております。

特に、初登場で第2位となった『ヤマハ・MT-07』に加え、第3位『ヤマハ・MT-09 ABS』、第5位『ヤマハ・MT-09』は、前回に引き続き上位5車種となっていることから、その人気もさることながら、ランキングを賑わせる存在として注目されます。

今回のランキングでは、大型二輪が数多くランクインしていることから、春夏のバイクシーズンに向けて、その人気が高まってきていると言えるのではないのでしょうか。

ライダー待望のシーズンが到来することで、今後ランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・PCX	71.6pt
2	ヤマハ・シグナス X SR	67.8pt
3	ホンダ・モンキー	67.7pt
4	ホンダ・グロム	66.7pt
5	ホンダ・リード125	66.2pt

バイク王 バイクライフ研究所

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja250 ABS Special Edition	78.5pt
2	カワサキ・Ninja250	73.1pt
3	ヤマハ・マジスティ S	69.3pt
4	カワサキ・ESTRELLA	68.9pt
5	ヤマハ・トリッカー	68.0pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB400SUPER FOUR	72.0pt
2	カワサキ・Ninja400	69.7pt
3	ヤマハ・SR400	65.6pt
4	ホンダ・CBR400R	59.5pt
5	スズキ・イントルーダークラシック 400	55.9pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・ゴールドウイング	82.1pt
2	ヤマハ・MT-07	79.4pt
3	ヤマハ・MT-09 ABS	78.6pt
4	ヤマハ・MT-09	77.7pt
5	ホンダ・NM4-01	73.9pt

■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(＝リセール)するときのプライス(＝価格)を指します。

2015年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間12.9万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、**バイク王 バイクライフ研究所**が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2015年4月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2015年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる**株式会社バイク王&カンパニー**が、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史